日伯新聞

伯國聖市マエストロ・カルヂン街二六九（ウエルダイロ街一二五八）
發行所日伯新聞社
本紙定價年册ミル
外國郵稅共百ミル

NEMO
ネモ化粧品

わが軍ひた押しに邁進

北支攻略一息

全軍轡を並べて肉薄
太原指呼の間に迫る
城内の敵早くも逃げ仕度

（山西省忻縣五日同盟）忻縣より太原を目指し南へ南へと猛進撃中の我が快速部隊は五日午後八時頃青龍鎭を占領した、同地より太原までは後十五キロである

（山西省忻縣五日同盟）飛行機の偵察によれば青龍鎭南方約一キロの地點に約五千の敵が野砲二十門をもつて我を要撃せんとする態勢をとつてゐるが、決河の如き我が進撃の前には大勢既に決したも同樣にて太原城内の敵大部隊は續々南方に逃走中である、その部隊約三万、我が〇機はこれに對して猛烈な空爆を加へつゝある

【石家莊四日同盟】四日午前計縣を占拠、全軍轡を並べて雪崩を打つて太原に迫る、北方よりの我が攻略軍の第一線長谷川部隊は四日午後六時早くも韓城鎭を突破、太原まで後八里の地點に進出し、又同方面東方地區を進撃した長野部隊も今夕忻縣東南方二里の地點を通過した

【天津五日同盟】天津軍司令部午前九時發表

一、同浦線方面忻口鎭の堅壘を突破した皇軍は破竹の勢をもつて北南方に敵を急追中のところ遂に先頭部隊は四日午後三時二十分柏井西南太原北方七里の地點に達した

二、正太線方面より太原平原に向つて敵を急追中の皇軍は四日午後五時三十分同平地の東端榆次に進入せり

蘇州河渡河後戰況

【上海五日同盟】蘇州河渡河後の我が軍戰鬪狀況を見るに四日午後脇坂部隊は蘇州河南岸八字橋を、〇〇部隊は夏鄧橋を夫々占領、更に當面の敵を猛擊中

陸戰隊に抵抗
溫州保安隊の暴擧

【上海五日同盟】四日午前溫州附近海岸で作業中の軍艦〇〇掩護のため五隻頭に上陸せる同艦陸戰隊に對し、突如保安隊一個中隊が抵抗し來つたので直に應戰、潰走せしめた

督戰隊と同士討
敵前線全く潰亂
給料不渡に戰意缺く

【北京五日】忻口鎭附近に於て投降せる支那兵の言によれば去る十三日以來我が確實なる砲擊と敵の給料不渡り及び我が軍の動告文等により戰意を喪失しつゝあつたが、後方督戰隊の强要により已むを得ず陣地に就き交戰を續けてゐたが、三日夜我軍の猛擊により遂に督戰隊との間に同志討

通常議會
十二月廿四日召集

【同盟五日】第七十三通常議會は來る十二月廿四日召集することに五日の定例閣議で決定したので政府は諸般の準備を了し近く右に關する勅令公布の手續を取ることゝなつた依つて開院式は廿六日とり行はせらるゝ御模樣に拜せられる

日本みやげ（33）

三浦生

從つて北支で政治的に深入する樣な事は先づあるまいと思ふが、各所に顧問だ教師だと相當日本人のインテリが働き口を得るであらう行詰つてる官場はその古手官吏のハケ口を見出すこと滿洲と同じだらう、北支は滿洲とちがつて軍部がサーベルをガチヤ付かせないでも、日本の資本家は進んで行くから、此方面にサラリーマンもいくらかハケる譯である、恰も英國の印度に於けるが如く、移民の餘地はないが、所謂高等移民はいくらかハケようと云ふ譯である、どうせ駐屯軍も從來のやうな手薄なことでは行かず、相當師團も常置し【沿安】の【維持】に當るであらう、若し蔣介石が少しスレカラシで「防共」が大いに結構、結らやりませう然し私んところの兵隊は弱くて物の役に立ちませんから露西亞相手の戰爭は一切お任せします」と萬事を授け掛けられたら、恰も道樂息子を一人抱えた樣なもので、日本は顎を出したかも知れないところが蔣介石にそんな智慧は無かつたと見えて、抗日に終始して今日の結果を來たし、黃河以北の防備に限つたことは日本としてはまだ負擔の輕い方であつたもとよりそんな事を引受ける筈もないが全支那の防共を押し付けられでもしようものなら、如何な日本と雖も奔命に疲れてしまうであらう

これまで一横に發展することを妨げられて居た日本は、據なく縱に深く〳〵這入つて行くより外なかつた、此點では稀に見る深刻さを現はして居る、それなら戰爭に勝つて滿洲だ北支だと、ベラ棒もない大きな土地を手に入れたら、日本の國積せる【社會】【問題】は【片付くか】と云ふと私は必ずしもそうは思はない、滿洲は前にも云ふ通り圖體こそは大きいが大した所でなく、北支だつて素人が夢想してるやうな無盡藏の富源を擁してる所じやない、大體支那について日本人は甚だ微易い事實を忘れて居る、それは支那は現存せる國としては印度と共に最も古く、何千年の昔から略々今日と似たり寄つたりの人口を抱擁して居て、大凡天然資源のある所は大抵開發し盡されて居る、南米の樣に四、五百年前に始めて發見され、千古斧鉞を入れずと云つた樣な森林がザラにあるのとは譯がちがう何所では何が出來、彼所では何が取れるといふことは大書かいろ〳〵やつて見てあるから略々きまつて居る、ポツと出の素人が一寸支那に入つて無盡藏の富源があるなどとタワケたことを云ふが、支那は決してそんなものではなく、未開發の富源など、そうザラにあるんじやない、只古い國だけに萬事のやり方がプリミチブだから指導して改良進歩させる餘地はある、世界の狙つて居るのは支那の富源もさることながら、實はあの四億の人間だ、之に物を賣り付けてといふのが究極の目的である、之は日本だつて決してぬかりはない【政府】や【軍部】は【彼此云】はなくても、民間の資本家はサツサと出掛けて行く、商賈人だつてドシ〳〵押かけて行く滿洲を物にした時、若い軍人たちは三井、三菱など財閥は一人も入れぬなどゝ變なことを云ひ居つたが、イザやつてみると資本家も一の道具、これなしには何事もやれないと解つて、後ではどうか來てくれと揉み手をしおつた程だ、北支は左樣な馬鹿なことを繰返す必要はなく、圓滿に行くものと見てよからう

神人泣け・護國の華散る

敵銃座に肉彈の突貫
攻めあぐんだ堅壘破壞
加賀一等兵の超人的武勳

（上海五日同盟）秋色深い江南に〇〇部隊は十一月三日の明治節の佳節を卜して上陸以來各地に轉戰、賜々たる武勳を樹て帝國軍人の龜鑑として讃へられたが、中でもめざましいのは〇〇部隊麾下の加賀求工兵の奮戰記だ

去る十月廿日未明同部隊が敵の難攻不落を誇る老陸宅奪取を目指して行動を開始したが、同陣地は名にし負ふ堅陣で二重に鐵條網を張り圍らしクリークを利用してコンクリート造りのトーチカを構築し、押し寄せる我が軍に對し頑として退かず、流石の我が精鋭部隊も暫し攻めあぐんでゐた、折しも〇〇部隊配屬の加賀一等兵は「隊長、私に機關銃座を破壞させて下さい」と手製の竹筒に爆藥を塡塡した爆彈二個を抱いて、降り注ぐ十字火を巧に避け乍ら敵陣目がけて突入し、銃座に迫ると見るや敢然銃盜めがけて爆彈を投じ、機關銃座を中天に舞ひ上らせ、更に殘る一彈を抱いたまゝ更に一跳び第二の銃座に迫らんとした際敵彈の齊射に片腕を奪はれたが、ひるまず前進を續け遂に目的地の銃座に達した、このとき加賀一等兵は猛然銃座に爆彈を抱いたまゝ肉彈となつて突貫遂に二個の機關銃座を潰滅せしめたのだ、諸住部隊長はこの超人的肉彈勇士の奮戰に感謝しつゝ今や突つ込めと軍刀を上げて全軍に號令、壯烈なる肉彈戰を演じ激戰數刻の後遂にこの堅壘を陷入れたのであつた、この勇壯無比鬼神も泣く肉彈一等兵の輝く武勳は諸住部隊の老陸宅占據の戰史と共に上海戰線の歷史的勇戰として全將士稱讃してゐる

—戰線から歸つた戰車の手入れ—

敵彈に傷つき乍ら
電線咬へて監視
勇敢な「武律號」

豪勇和知部隊に從軍する軍犬武律號（シェパード）は八月廿七日主人とともに羅店鎭戰線最前線に出動し得意の電線架設作業に從事中、林檎吉一等兵は不幸敵彈が命中壯烈な戰死をとげた、武律號は林一等兵の肩章をくはへて歸還、中山通信班長に主人の吉一等兵が愛育の軍犬武律號をあはれみそれから中山通信班長が愛育しその後も戰線について傳令に、電線架設に活躍してゐたが、去る九月十七日夕刻中山通信班長に伴はれ和知、永津全部隊間の電線架設作業に從事した、ところが武律號が背負ふた電線は永津部隊のそれと後數十米といふところでつきてしまつた、やむなく中山通信班長は電線をとり引返すことゝなり武律號に電線の突端をくはへさせて堤防上に監視を命じ一同數十米を引返したが見事武律號は主人の命の通りちやんと電線をくはへて坐つてゐるいぢらしさにまた引返して自分の身につけてゐた高知市別格官幣社山内神社の護符をとつて武律號の首にまきつけ「お前は神樣が護つてくださる、俺が來るまで死んでもこの電線をはなすな」と人に物いふごとくいひ聞かせて〇〇に歸り、午後十時半電線をもつて現場に引返すと武律號は健氣にちやんと電線をくはへて監視の任を果してゐた、しかも彼の坐つてゐた數メートル附近に支那の迫擊砲彈が落下してをり武律號はそのため左足に痛ましい傷を負うてゐた、中山通信班長は「武律は俺の身代り」になつて負傷したのだ」と感激し、直に和知部隊に報告したのであつた

軍犬の殊勳

米國最大の放送局
日支紛爭討論を中繼
極東通三權威、中立を强調

【華府五日同盟】日支問題が米國民の最大關心を惹いてゐる折柄、米國最大のNBC放送會社は四日極東問題の三權威を招いて日支紛爭討論會を開催、午後九時半から一時間ノ内神社の護符をとつて武律號の首にまきつけ「お前は神に多大の反響を呼んだ、先づ前帝國政府外交顧問フレデリツク・ムア氏は日本を擁護して曰く

極東に於る事態は決して豫め愼重に準備された組織的且つ惡意の帝國主義的攻擊から發生したものでない、事實は二つの民族の集團的衝突で、かゝる現象は世界歷史上何回に亘り經驗した所である、若し假に米國人が西印度諸島に住んでゐるが、一方北米大陸にロシヤ人か又南米大陸に支那人が蟠居して居るとすれば、我々米國人も嘗て日本人が滿洲事變當時行つたと全く同樣のことをなすに相違ない西歐諸國が過去において示した征服の歷史は如何、大戰後英佛兩國は獨逸植民地を分捕りしたではないか、若しも集團保障主義が最大多數の最大幸福を目標とするならば最善の方法は米國が英國と協力することでなく、大洋を隔てゝ米國の安全をのみ庶幾することである

ムーア氏の後に續いて國際法の權威エール大學教授ドーン・ポーチヤード博士は法律正中立を維持すべきだとして次の如く述べた

余の見る處では歐米が日本に干渉を行ふとしてもそれには法律的根據がない、第一に九國條約は主權的、領土的、行政的に完全な國だとの想定に基づいてゐるが事實相違だ、大體支那には二百年この方主權や領土的行政的完成など云ふものは存在してゐない、第二に米國は聯盟に參加してゐない第三に不戰條約は無意味な自己否定の法律だ、蓋し生物的心理的民族的社會的な力は條約等では律し切れるものではないから最後に極東問題の權威ナザエル・ペツファー氏は他國の日支紛爭干渉を排撃して支那自身の利害からいつても他國は手出しせず、支那自身が戰ふに委せて置けばいゝと述べた

將兵の防寒具に
野・兎……大量捕獲

【東京四日同盟】北中支の山野に轉戰する我將兵の防寒具に何よりよい野兎の捕獲に闘し、陸軍省では十一月から二月まで野兎の毛の最もよい採收時期を前に農林省と協力大日本獵友會に依頼して各府縣に通牒今年度は是非とも百五十萬頭を上げることゝなつたので、全國の狩獵家達は鐵砲に磨をかけて張切つてゐる

なほ農林省では各縣に講習會を開いて野兎の狩獵に萬全を期することゝなつた

御注文は早速!!
一九三八年度
フオリンニヤ
フオリンニヤ代用
フイルマ入りタオル
…お望み通りの圖案で染抜きます…
なんと云つても日伯のが一番いゝですよ……
早速御注文は—
本社出張員又は直接本社へ
日伯社營業部

ラヂオ
はその優秀を誇る最新型
BLAUPUNKT
九球、短長兩波受信可、皆さん懷しき母國の聲を
BLAUPUNKT
を通じて聞きませう
輸入商
HERM. STOLTZ & CIA.
Rua Alvares Penteado, 8 - Caixa, 461
São Paulo

WALLIG & CIA.
Filial de SÃO PAULO
Rua Libero Badaro, 162 - Tel. 2-7707
Caixa Postal, 2268 — S. Paulo
南米最大
フオゴン會社
ガス、薪、コークス、油用等各種
家庭に・ホテルに・レストランテに・學校に最適
…底廉奉仕…
早速御用命の程を

珈琲政策の更改（中）

聯邦當局が現行珈琲政策をどの程度に更改するのであるかは今のところ確と判らないが、コスタ藏相幷にフェルナンド珈琲院總裁の談話より推測するに、去五月の珈琲生産州會議に於て決定し且つ過般議會の協贊を經た上現に實施中の今季收穫珈琲に對する七割犠牲割當制はこの儘依然續行の上、輸出稅四十五ミルを或る程度まで低減することは事實らしい、七割のクオタは各生産州代表者によつて承認されたものではあるが、それは在來の珈琲政策を前提としてをり新政策實施の上はこれに準じて多少の變改を加へて然るべきものとの說も行はれてゐるところ、昨今の生産情勢に於ては、需給の均衡を保つため之が履行は是非必要であると當局は見てをるようであり、また民間當業者側によつても之によつて珈琲院から受ける金額は俵當り僅々三十九ミル二百といふ少額ながら總額において兎に角五十萬コントといふ金が民間に撒かれることは、金融逼迫の折柄文句を抜きにして歡迎するところであり、殊にその大部分を受取ることになつてゐる聖州當業者においてその感深く、すでに先週中頃來サントスで支拂開始されたゝめに業界を潤してゐる功徳は相當なものである、これは更にそれ〴〵の機關を通じて內奥地に廻はされる筈で、この點からのみ見ても時節柄クオタ制實施に反對する者はないであらう

次に十五シリング輸出稅はどの程度まで輕減されるか、或は三十ミルといひ或は三十三ミルといひ非說區々であるが、仮りに現在の俵當り四十五ミルから三十ミル減じ十五ミルとするも十キロ當り五ミルの輕減となり海外市場における他國品との競爭力がそれだけ補强されることになる、現に政策更改の發表あつた去三日の紐育取引市場におけるサントス四級品の相場は一躍最大限度の百ポイント低落、一昨四日には更に八十七ポイントの追落を見たがこれは云ふまでもなく輸出稅輕減を見越しての相場であつて、それが輕減範圍內に止まる限り伯國內相場に影響は及ぼさない而も他國品はこれに準じて低落を餘儀なくされ、例へばコロンビア標準物も四日に一躍七十五ポイントの低落を見てゐる、輸出稅引下げによる利益は勿論輸出珈琲全般に及ぼされるものであるが、率から云へば上級品より下級品が特に惠まれる、これは下級品を多く生産する伯國にとつて非常なる强味であつて、低廉品の供給はやがて消費量の增加を來すは疑ないところである、斯くて從來の誤れる政策の結果他國品によつて侵蝕された市場を恢復し、更に進んで新市場の開拓にも可なりの希望を有たせる點新政策の齎らす利益は蓋し甚大なものがあらう

大體聖州珈琲生産者本來の希望としては輸出稅の全廢、珈琲院の廢止にあり、昨年來各地で開かれた生産者大會における聯邦當局への陳情決議は何れもこの點を强調してゐる、併しながら輸出稅の全廢は彼の二千萬俵珈琲債償還問題の始末がつかぬ限り實現困難であり、珈琲院廢止案もそもそも伯銀に對する巨大な負債處分の途が拓かれねば話にならないのである、或は輸出稅を全廢しても外債償還資金だけで解決出來る程簡單なものではない

九國會議轉向

日本再招請は見合せ　特別委員會を任命　我方受諾せば調停へ乘出し

【ブラッセル四日同盟】三日の英米佛三國代表の私的會議の結果に基き、四日午前十一時から白耳義外務省に於て支那を除く九國條約會議本會議は四日午後二時半非公開をもつて開會、日支兩國政府の和協交渉に斡旋する權限を附與する旨を決定した、同委員會の構成に就て確聞するに英米白三國代表が入ることは確實で後は多分佛伊二國代表が參加するものと見られる

特別委員會構成　英米白伊佛參加か

【ブラッセル四日同盟】九國條約會議本會議は四日午後二時半非公開をもつて開會、日支兩國政府の和協交渉に斡旋する權限を附與する旨を決定した、同委員會の構成に就て確聞するに英米白三國代表が入ることは確實で後は多分佛伊二國代表が參加するものと見られる

參加再考慮　對獨通牒を發す

【ブラッセル四日同盟】英佛ソヴエット以下主要九國首席代表會議は獨乙政府に對し通牒を送り會議に參加するよう再考慮を求むることに決定し

【ブラッセル四日同盟】九國條約會議々長スパーク外相が白耳義內閣組織を囑されたことは余りに突然であつたゝめに四日午後六時開會豫定の第二次會議は日取止めとなり、五日午前十時半から更めて開會、正午頃會議の經過につきコミュニケを發表することゝなる樣である、今度の會議で目立つたのはソヴエット聯邦の政情が不安なところへソ聯代表リトヴイノフ氏は小委員會の設立案にも支那を除く主要數ケ國よりなる特別委員會を任命、同委員會を通じて日本に對し支那との和協交渉開始方を慫慂するに意見一致し、午後零時半散會した、日本がこれを受諾すれば右委員會は日支兩國の間に立つて調停役を勤めるはずである

支那代表、悄然退場　ソ聯、小委員會を遠慮

【ブラッセル四日同盟】九國條約會議々長スパーク外相が白耳義內閣組織を囑されたことは余りに突然であつたゝめに四日午後六時開會豫定の第二次會議は日取止めとなり、五日午前十時半から更めて開會、正午頃會議の經過につきコミュニケを發表することゝなる樣である、今度の會議で目立つたのはソヴエット聯邦の政情が不安なところへソ聯代表リトヴイノフ氏は小委員會の設立案にも一應は發言して見ようが、會議はソヴエット聯邦は九國條約組織國でないからソヴエットの參加が日本との鬪爭化を引き起すようならソヴエットは五日の會議で決定する筈してもよいとまでいつてをり小委員會設置案は滿場一致で成立した、支那代表は議場からも力なく最後に悄然として退出した、小委員會の顏振れを之に充當して十分賄へるものであり、珈琲院の負債もこれを國庫に肩代りすることによつて處置し得ると唱へる向もあるが、これは單なる經濟問題でなく政治的に複雜な事情の伏在するあつて、單獨だけで解決出來る程簡單なものではない

會議は骨拔き　日本は滿足しやう　英紙、悲觀論を掲載

【ロンドン三日】ロンドン各紙は三日の紙上に於て九國條約會議に就き論評を加へてゐるが、その代表的なものはデーリー・テレグラフ・アンド・モーニング・ポスト紙で同紙は左の如く悲觀論を述べてゐる

聯盟は日本を非難したが、それがため日本は豫め判決を受けたとし、會議不參加の口實に與へることゝなつた、最大級の樂觀論者でもなければ所謂九國條約會議が平和への道を阻害する旁しからぬ情勢を押し切つてその注意的目的のために多大の成功を收めることが出來ると信ずることは出來まい、昨日の會議に於ける各國代表の演說はたつた一つよき効果を齎すかも知れぬ、それは會議は事件を判決を下すどころか骨拔でかゝる判決の意圖すらもなく各代表は支那にこうはいはないが、日本にとつては兎に角滿足出來る樣な方途に出る旨保證を與へてゐるといふ風に日本の輿論を說得するであらう

滿洲國治外法權撤廢　植田駐滿大使と張總理との間に　歷史的調印式行はる

【東京五日同盟】滿洲國に於ける治外法權の撤廢及び南滿洲鐵道附屬地行政權の移讓に關する日本國、滿洲國間條約の調印式は五日午前十時新京に於て植田駐滿大使と張滿洲國々務總理との間に嚴肅に行はれたが、右に對し本日外務省では左の要旨の當局談を發表した

帝國政府は日滿兩國の不可分關係を鞏固にすると共に滿洲國の建全なる發達を促進する根本國策に基づき、帝國が現に滿洲國に於て條約上享有してゐる治外法權及び南滿洲鐵道附屬地行政權の如きも事情の許す限り速かにこれが撤廢又は移讓を適當と認め昨年六月課稅產業に關する一部撤廢移讓を行つたが、その實績頗る良好なるに鑑み今回愈々これが全部的撤廢を斷行、日滿兩國條約の調印を見るに至つた次第である

一、本條約は條約、附屬協定諒解事項の三部より成り本條約により治外法權及び附屬地行政權は原則として全面的に撤廢又は移讓せられ在滿日本臣民は滿洲國法令並にその裁判官々憲に服することゝなり、又滿洲國領域內に本店又は重なる事務所を有する日本國法人は一律に滿洲國法人となる

然しかゝる大事業遂行のための過渡的便法として種々例外を設ける必要あることは當然である、即ち過渡的便法としては條約實施當時日本國領事裁判所取扱にかゝる民刑事訴訟事件は引續き日本國裁判所に於て處理し、又特殊事項に關する例外的措置として在滿帝國臣民の敎育及び兵事に關する行政は適當の範圍を定め依然日本側に於てこれを行ひ更に通信業務及びその附帶業務に關しては例外的措置を講じてゐる

一、なほ日本國臣民の正當なる權益擁護のため各種の規定を設けてゐるその重なるものは

(一)滿洲國政府は日本國臣民の身體及び財產に對し國際法上及び法の一般原則に適合する裁判上の保護を保障すべきこと

(二)滿洲國政府は附屬地行政に當り一般文化の向上及び產業の進展を阻害せざるやう適當の措置を講ずること

(三)滿洲國政府は日本國臣民に對し警察その他の行政に當り日本國臣民の身體及び財產の保護に關し一切の保障を與ふべきこと等である

支那棉減收　事變や降雨害で　四百万俵

【華府廿三日UP】農業經濟ビューローの報告によると南京政府は日支事變終結するまで生產者より棉花買上げを行ふため政府任命の棉花調節機關を新設することゝなつたと傳へられるが

支那棉本年度收穫は北支並に揚子江岸地方の大雨と日支事變の影響とにより減收を來し當初の豫想四百二十万俵に對し四百万俵を超へまいと見られてゐる

イムペリアル　ミシンは國產品　市聖伊藤商會

仲裁は時の氏神？　日支紛爭の調停に　ヒトラー總統乘出しか

【伯林五日伺盟】獨乙政府はブラッセル會議に對しては調停に乘出す意向と解される、尤も日支兩國が調停條件を受諾する見込みが立たねば手を引くものと見られるが、ヒトラー總統は成功の確信を抱いてゐる樣である、調停乘出しの時期は明かでないが、四日羅馬へ向つた外交顧問リッベントロップ大使の歸還を待つて同大使に豫備工作を行はせるのではないかと見られる

ヒトラー總統側近者の語る、所によれば、ヒトラー總統は自ら日支兩國の間に立つて調停に乘出す意向と解される、尤も日支兩國が調停條件を受諾する見込みが立たねば手を引くものと見られるが、ヒトラー總統は成功の確信を抱いてゐる樣である、調停乘出しの時期は明かでないが、四日羅馬へ向つた外交顧問リッベントロップ大使の歸還を待つて同大使に豫備工作を行はせるのではないかと見られる

朝日軍用機獻金報告（敬稱略）

（前回はブラジル時報に掲載）

七日テ九八ス七ミルセルグラソロ線シヤバンデ植民地

一本沃磨ル内譯人會扱

五〇〇ミル岡崎ル

三〇〇ミル助三郎

一〇〇ミル本

二五勇次郎

二〇〇ミル吉

一五五ミル保次郎

一〇〇ミル

三〇〇ミル吉

二〇〇ミル

三三ミル

一三ミル

三三ミル

一二ミル

一二ミル

一二

新珈琲政策

輸出税はどの程度輕減か 具體的條項未だ不詳

外國市場では一般に好評

聯邦當局が珈琲院をして如何なる政策を採らしめるであらうか、サントス以下三取引所の立會停止を命じてすでに三日を經過するが未だ何ら之に關する發表はない、一昨四日コスタ藏相はクルブ・ドス・ゾゼントスに於てカルドーゾ聖州々統領と長時間に亘つて協議するところあつたが兎角の決定は問題の性質上遲延を許さぬので發表も間近にあることゝ察せられる、尚決定の上は議會の協賛を經る要あること勿論である、諸外國における反響を見るに米、英、佛、獨各國共に伯國當局の措置は當然であり、他競爭國がこれによつて打撃を受けるは已むを得ぬとし、併しながら今後相場の全般的低下により消費量の增大するは必然であるから、生産過剩の域に達した業界のため永い眠で見れば大いに祝福されなければならないといつてゐる

取引所は閉鎖中ではあるが四日のリオにおける取引所外で建てられた相場を見るに

限月	賣	買
十一月	一四、二〇〇	一四、〇〇〇
十二月	一四、二〇〇	一四、〇〇〇
一月	一四、〇〇〇	一三、八〇〇
二月	一四、〇〇〇	一三、八〇〇
三月	一四、〇〇〇	一三、八〇〇
四月	一四、〇〇〇	一三、八〇〇

で豫期されてた程の低落は見せてゐない、又同日紐育清算市場におけるサントス四級品建値は十二月限七仙二五（前日比八七ポイント低落）三月限七仙（前日比六六ポイント低落）五月限六仙九五（前日比五六ポイント落）で同じくリオ七級品は、十二月限四仙三〇（前日比六九ポイント落）三月限四仙一七（前日比三七ポイント落）五月限四仙二〇（前日比二三ポイント落）であつた

僕等はブラジル人だ

邦人二世 勇み立つて入營

盛大な入營祝に伯人仰天

心ない排日家は在留邦人から當伯國の兵役義務を勤める者がないと非難したが、こゝに生きたよい實例がある、古くから邦人米作地として知られたモジアナ線イガラパーバのパリ植民地在住松隈万太郎、竹内官吾兩氏の息は今度召集に應じて伯國陸軍の兵役に服することゝなつた、之を聽いた同地在住の邦人達は第二世のうけたこの榮譽に對し、伯國に對する忠義の心も祖國愛と變りはないと、日本式の盛大な入營祝ひを行つたのでイガラパーバ在住伯國人は感激、同市駐在の伯字紙特派員ジョゼ・バジレ氏などイガラパーバ始まつて以來の盛事だと感激の通信をしてゐる

入營祝ひは最初パリ植民地で次いでイガラパーバ市棚町旅館でセルベージャの滿を引いて行はれ、邦人は素より伯人も加はり一大盛況を見送りをなし、伯國萬歲、伯國々軍萬歲、日本人萬歲の聲はイガラパーバの町を一震駭するほどだつた

日本人第二世が伯國に對し我々伯人と變らぬ愛國心を發揮するは欣懷至極だと述べ、邦人側からも八ツ田一藤氏起つて當地在住邦人から尊い兵役の義務を果し伯國に奉仕する者を出すのは在留邦人一同の名譽と滿足この上ないと祝辭を述べ、宴終つて一同入營の所勇士に對し停車場に盛大な見送りをなし、伯國萬歲、伯國々軍萬歲、日本人萬歲

球で歡迎！

藤原義江氏大喜び

珍戰・記者團、老童軍も出場

歡迎試合に寄贈の優勝盃を持つ「われらのテナー」

既報、大の野球ファンであるわれらのテナー藤原義江氏を迎へた聖市球界では本社後援の元に歡迎試合を開催することになり着々準備を進めてゐたがいよいよ來る七日午前十時半よりスダン球場で華々しく擧行することに決定した、

當日は記者團對老童軍の珍戰を皮切りに續いて先般試合時間の新記錄を作つた聖市球界ソルテーロ對カザード組試合を擧行、このソルテーロ對カザード戰には藤原氏より美麗な優勝カップが寄贈されるなほ試合終了後一同常盤ホテル食堂で藤原氏を圍んで晩餐會が賑やかに開かれる、記者團對老童軍メンバー左の通り

▲記者團チーム

（投）村崎　（捕）保澤　（一）厨部　（二）村山　（三）稜木　（遊）澤村　（左）部古　（中）山溝　（右）村内

▲老童チーム

（投）齋藤　（捕）竹谷　（一）長川　（二）矢崎　（三）南里　（遊）石原　（左）香山　（中）宮坂

補欠＝石井、榛葉、西元、木村

補欠＝多田、横澤、竹田

我等のテナーを圍んで 音樂行脚座談會

十二日教普會主催

教育普及會では我等のテナー藤原義江氏を招待、來る十二日夜サンジョアキン街リラ倶樂部に於て得意の世界音樂行脚について座談會を開く事となつた由

聖市水曜會で テナーを歡迎

聖市婦人水曜會では今般來伯したテナー藤原義江氏を昨日午後四時よりお茶の會に招待盛大であつた

新興植民地の 明朗化

ソロ線プ・ペルナルデス町奥の新興植民地は同町の元老稻毛氏の創立せる自慢の植民地であるが、なるほど作付も良好でバタ、ミーリョ、豆、棉等の作物の成育振りは素晴しいものである、教育は元エメポイ農場にゐた高橋善壽氏を迎へ公認學校手續中で堅實な第二世の養成に當り青年會も生れ修養を第一に植民地の明朗化を畫してゐる

日の丸振つて 別れを惜しむ

歸つて來た親日伯人

オリ丸で

元リオ市々會議員及び市長代理をやつたことのあるコロネル・カルロス・レイテ・リベイロ氏は過般來世界一週の途次日本へ立寄り視察の後リオデヤネイロ丸で去る三日歸伯したが同氏は日本滯在中、今次事變に遭遇し、つぶさに如何に日本が正義のために、戰つてゐるかを共のために見て、大いに認識を深めてからは大の親日家となり船中では移民さん達の子供に菓子を配るやら愛嬌を振りまき更にリオ着の前日には少しばかりではあるがと移民さん達を集めお酒を配り別れの宴を張り、下船の際には日の丸の旗を振振つて一ケ月餘りすつかり仲良しになつた子供達と別れを惜んだ

來年一月から 郵便料金値上

プラジルの郵便料は世界中で一番安いといはれてゐたが、いよ〳〵來年一月一日から左の通り値上げされることゝなつた

▲…外國行　手紙は一ミル二百レースで二十グラム增す毎に七百レース、葉書五百レース、往復葉書一ミル、書留一ミル三百レース、雜誌五十グラムまで二百五十レース

▲…內國　手紙は郡內二百レース、郡外四百レース、葉書二百レース、往復葉書四百レース、書留八百レース、速達一ミル二百レース、なほ手紙は二十グラム增す毎に二百レース增

喜しい植物外交

勸業部から苗木注文

過般聖市總領事館勸業部の韓旋により油桐、甘庶（臺灣產）を伯國に送つたが近時當國の關心頗る高まり本邦觀賞植物果樹等の移植を希望し勸業部へ入手韓旋方を依頼する向が多く先般も澤田大使より櫻を移植して日本趣味を實現せんとの計畫をしてゐるので植物交換試植し觀賞又は造林用に供することが出來れば兩國の交歡にも資する所大なるものがあるといふので勸業部では日本政府に左の種類の苗木を送つて貰ふことになつた

▲果樹＝柿、栗、李、梨、ビワ、鳳梨、梅

▲植林樹及觀賞植物＝楓、藤、梅、櫻、ツツヂ、牡丹、苟、葛、百合、花菖浦、菊、五葉松、銀杏、杉、松、檜

▲特用作物＝三椏、シュロ、麻、コンニヤク芋、忽布、ケシ、ハゼ、セイロンオリーブ、ハ甘庶

寄生虫

檢便開始

チエテ醫局

チエテ移住地醫局では今年も昨年同樣十二指腸虫の無料檢便を施行し虫の有無を檢べ保持者には夫々必要な處置を指示し移住地から十二指腸虫を殲滅し、いては他病に冒されるもとをなくすることゝなつた

病院建設 中央委員會

日本病院建設中央委員會では昨日午後總領事館に於て新任の坂根總領事を中心に開催し現在の建築及び寄附募金集狀態を說明した

鎌田博士 知友を招待

日本病院副院長として過般着伯した鎌田醫學博士は昨日午後六時半より聖市ホテル・エスプラナーグに知友十數名を晩餐に招待した

主要商品市況

（十一月五日）

	賣	買
▼アロース		
アグーリヤ（ボン）	九、〇〇〇	八、〇〇〇
同（ボン）	一三、〇〇〇	一二、〇〇〇
▼フェジョン		
ムラチーニョ	一三、〇〇〇	一二、〇〇〇
同（ボン）		
▼ミーリョ		
アマレリンニョ	一、三〇〇	一、〇〇〇
アマレロン	一、三〇〇	一、〇〇〇
▼バタタ		
スペリオール	三、〇〇〇	二、六〇〇
ボア	三、〇〇〇	二、六〇〇
▼砂糖（ハリボ）	四〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇
▼小麥粉	四二、〇〇〇	四〇、〇〇〇
▼バニーニヤ（箱）	六〇〇	
▼マモーナ		
▼カフエー（四級品）	四〇、〇〇〇	
▼アルゴドン		
野菜部（コチア藏）	十一月五日	
▼トマテ	四、〇〇〇	
▼レポーリョ	六、〇〇〇	
▼エルヴイリヤ	一四、〇〇〇	
▼ピメントン	一五、〇〇〇	
▼バージエン	一〇、〇〇〇	
▼ポブリーニヤ	八、〇〇〇	
▼ベピーノ	一〇、〇〇〇	
▼ナス	一〇、〇〇〇	
▼コーベフロール	一〇、〇〇〇	
▼バタタドーセ	一二、〇〇〇	

英前首相來伯

かねて來訪の噂あつたイギリス前首相ラムゼ・マクドナルド氏は愈よ一昨日サンパウロに入り、氏の來訪は表面私人の資格であるが勿論單なる遊歷ではなく財政并に經濟上問題につき重要使命を帶びてゐるものと見られ、當地の英系事業會社筋でも氏を迎へる準備をいそいでゐる模樣

◆…ナチス獨乙では四年計畫遂行のため義務に金を使ふなと以ての外だと全國の商醫者に國立銀行に持參せよと宣傳した所、効果は覿面々々四百萬圓も要る義務用の金が忽ち半減したと

◆…中央線危機に命拾ひした水野龍翁は壯者を凌ぐ元氣さだが、どう感違いしたか我等のテナー藤原義江を女と思ひ込み、ヨシエ嬢は變つかねと聽いてゐた

◆…藤原氏の九日のコンサートは當地藝術家協會だけの非公開でソーシオしか入れず、公開演奏は十一日からだと

◆…戰時令下の通信通話は意外に嚴重で外國發信の電報には一々檢譯をつけ、リオ、サンパウロ間の長距離電話は衞語で話さなければならぬと

◆…リオ丸で來た新來同胞六百余名は今日午後牧容所を巢立つてそれ〴〵耕地向け出發する

◆…本年十一月十五日から休暇中には竣工豫定で新學期から授業開始の筈である

なほ去三日の明治節には國防献金を目的に日本人會主催でシネマの夕を催した

オウトモベル倶樂部 市毛夫妻送別宴

聖市オウトモベル倶樂部では來る九日曙朝の市毛總領事夫妻を招待し七日午後八時より送別の宴を張ることゝなつた

◆…リオ通信に依ると昨五日イタマラチ外務省で日伯商業會議所設置につき具體的相談會が催された

◆…リオ丸で來た新來同胞六百余名は今日午後牧容所を巢立つてそれ〴〵耕地へ向け出發する

◆…本年十一月十五日から來年二月十五日まで滿三ケ月間はサンパウロ州內の河川に於て網その他の器具をもつて漁撈することまかりならぬといふ法令が出たから御用心

地方代理人募集

當方貯蓄債券の地方代理人を募集致します、御希望の方は詳細面談致しますから左記へ御照會下さい、又は詳細聖市リベロ・バグロ街九四　大西猛

身元證明書

新法令により當伯國在住外國人は右證明書を取らねばなりません、右委細は左記へ（手續書類作製）B. TEIXEIRA R. Libero Bapará, 443 2º and sala 8

求人

コペイラとアルマデイラに經驗のある娘さんを求む Rua Pamplona 873

社告

ウエンセスラウ　安藤雄
パウリスタ本線　安達忠雄
サントスジユキア　田中行
カンポグランデ　金子佳
アラサツーバ　森茂央
マリリア　田中三郎
奥ソロ　金子佳
パラナ　手島明二
有田精二

右各出張員を出張致させて居ります、諸賢の御配慮を願上ます

日伯社營業部

はき心地よい靴は LONDRES 靴店で

R. Quintino Bocayuva, 17-A São Paulo

分讓

薄荷苗並に栗苗

優良日本種

農家の副業として最も有利なる薄荷苗並に栗苗を分讓苗木に副限あり至急申込あり度し

聖市　耕農園　R. Peitroso de Mornes 174 Pinheiros C. Postal 3952 São Paulo

老いも若きも幼きも健康第一に、常に

CHÁ RIBEIRA PRETO

品質と傳統を誇る リベイラ紅茶 と綠茶を 召しませ

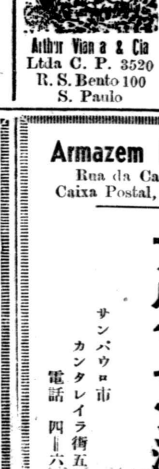
聖市シヤリベイラ喫茶部 キンゼ・ノーベン プロニヤ 倉庫部 タバチンガ ーラ六十八番

ゼルマニア・燐酸加里

この新肥料は棉蔬菜に最適、見本進呈 チリ硝石使用はその收穫をまします

Arthur Vianna & Cia Ltda Rua São Bento 100 Caixa Postal 3520 São Paulo

印ナンアビ 殺鼠器



Arthur Vian a & Cia Ltda C. P. 3520 R. S. Bento 100 S. Paulo

ほねつぎ 柔道指南、整骨醫

尚武館　富川富與

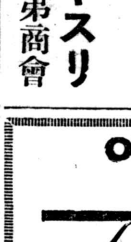
道場 聖市セミナリオ街五一番 自宅 ビニエイロス・カリニス街九番

親切本位

下田旅館

並に農產物仲買

パウリスタ線ベラクルス町　下田福松



▼向ふ處無敵▲ 日本一 壺万ヤスリ 輸入元 破魔兄弟商會

リベイラ名產 マンジューバ

鹽から

セツテ・バラス 桑野熊太郎製 發賣元 赤木商會 Caixa, 1807 S. Paulo

南興堂 R. Carlos Gomes, 48 Caixa, 404 S. Paulo

CASA GRANDE

ビネイロス最大の店

小間物、アルミニヨ、玩具、電氣器具類、皿、紙類、香水、ガラス器、金物

••••在庫豐富••••

皆様の家の道具は安くて良い當店のもので……

R. Butantan, 43 (Lgo. do Pinheiros)

Sul America

Terrestres, Maritimos e Accidentes.

Succursal em São Paulo. Rua Bôa Vista 175 5º and

南米一 スール・アメリカ 火災海上傷害保險會社コソ

絕對確實ニ保證申上マス

取扱保險種目

火災、勞働傷害、個人傷害、自動車、海上、鐵道、運送其他

サンパウロ支社

電略 "ASAFIC"

R. MONTEIRO & CIA

Rua 25 de Março, 113-17 - Caixa, 1647 - S. Paulo

••••••店　支••••••

R. Jose Bonifacio, 43 R. 15 de Novembro, 32-4 Av, Rangel Pestana, 1475 R. Boa Vista, 43

Santos - R. General Camara, 79 - Rio de Janeiro - R. Uruguayana, 166

カジミーラ「イムペリアール」印一手販賣元

IMPERIAL CASIMIRA MARCA REGISTRADA

最底市價を以て洋服店各位の御用命に應ず

在庫品豐富 價格至廉

見本御申込次第急送

各布類破格の御値段で御用命に應じて居ります

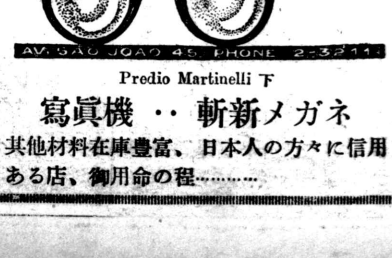
……好機御利用どしどし御註文の程を……

英國及アイルランド製麻服地豐富

一米十二釐より

服反物類一切卸小賣（聖市及リオ）

エレ・モンテイロ商會



Predio Martinelli 下

寫眞機 ‥ 斬新メガネ

其他材料在庫豐富、日本人の方々に信用ある店、御用命の程……

Armazem Kaiko Ltda.

Rua da Cantareira, 546 Caixa Postal, 1602 S. Paulo

農產物委托販賣

各位の御便利を計るためコニヤシメントに對し御融通申上ます

アルマゼン海興

サンパウロ市 カンタレイラ街五四六 電話 四＝六五四四

NIPPAK SHIMBUN

Diario Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXIII — São Paulo — Sabbado, 6 de Novembro de 1937 — Num. 1.248

大賣出し

大衆お値段、よい品を安くお求めあれ

二割、五割引

チャンスは今！

FOI INAUGURADA A CONFERENCIA DE BRUXELLAS

A attitude de reserva e precaução adoptada pelas potencias causa decepção á delegação chineza

Bruxellas, 3 — Domei — Foi inaugurada ás 11 horas e 10 minutos de hoje, nesta cidade, a Conferencia das Nove Potencias, numa atmosphera de pessimismo geral. Cerca de 200 jornalistas vindos dos quatro cantos do globo, encheram o salão do velho palacio do Duque d'Orange.

Actor principal, infeliz e triste deste dia, o representante chinez, sr. Wellington Koo tomou logar, com os companheiros de sua delegação, na parte media posterior do salão, todos com a physionomia palida.

A Conferencia foi iniciada com o discurso do sr. Spaak, ministro do Exterior da Belgica, eleito presidente da mesma. A seguir foi dada a palavra ao sr. Davis representante norte-americano, o qual manifestou seu apoio ao discurso do sr. Spaak, declarando que o objectivo da Conferencia era encontrar um meio de reconciliação entre o Japão e a China. O sr. Eden, delegado inglez, levantou-se e disse mais ou menos o que disse o sr. Davis, o mesmo tendo feito o representante francez, sr. Ivon Delbos. Os tres delegados apenas mostraram o gesto da cooperação entre a Inglaterra, Estados Unidos e França. No entanto era evidente o esforço dos representantes dos tres paizes, no sentido de evitar termos aggressivos contra o Japão. Chamou attenção a oração do delegado italiano, sr. Aldovrandi Marescoti, que mostrou firme attitude apoiar o Nippon.

Os discursos dos representantes das potencias causaram decepção aos delegados chinezes, nos quaes já se nota visivel desanimo.

O discurso de abertura e a oração do representante italiano

O conde Marescoti sustenta a necessidade de um entendimento directo das duas partes em conflicto

Bruxellas, 3 — Domei — O sr. Henry Spaak, ministro do Exterior da Belgica, acceitára o papel de promotor da Conferencia dos Nove Potencias, unicamente para contribuir com as potencias no sentido de estabelecer a paz. Lamentou que o Japão tivesse reecusado participar da Conferencia e referiu-se á resposta do governo de Tokio, a qual seria distribuida aos delegados ali presentes, os quaes não considerariam a conferencia como uma especie de tribunal internacional chamado a julgar o Japão, não levando em consideração a honra e o prestigio deste.

Terminou que a paz e a cooperação era o unico desejo e fim da Conferencia, acabando, se possivel, com a guerra.

Bruxellas, 3 — Domei — O delegado italiano, conde Marescoti, sustentando que o unico meio de solucionar o conflicto era o entendimento directo entre o Japão e a China, disse, em resumo, o seguinte:

"A Italia deplora, antes de tudo a luta a que se entregam dois povos amigos. O governo fascista deseja que esta luta tenha fim em condições taes que não possa nunca mais reaccender-se. Não se trata de procurar uma solução transictoria, mas uma solução definitiva.

A Commissão Litton não conseguiu realisar a sua tarefa. O unico resultado obtido foi a retirada do Japão da Sociedade das Nações. Accredito que a paz deve ser procurada directamente entre os dois paizes belligerantes. Não é possivel garantir o exito duradouro desta Conferencia sem a participação do Japão. Não é possivel tambem discutir o problema nippo-chinez que data de millenios num canto afastado da Europa. E' necessario aconselhar a negociação directa entre os dois paizes. A unica coisa util é convidar as duas partes a entrar em contacto directamente, depois do que nada temos a fazer.

O governo italiano formula todas as reservas quanto aos resultados da Conferencia, quaesquer que sejam as resoluções tomadas. Os paizes signatarios do Pacto das Nove Potencias esforçam-se em esclarecer seus principios fundamentaes, baseados na orientação politica de cada qual. Estes principios, entretanto, devem-se referir exclusivamente ao respeito á independencia e integridade territorial da China. No momento actual é necessario que nós collaboremos para a consolidação de um accordo entre o Japão e a China, os quaes deverão, para iniciar as conversações, abandonar as armas. Esta proposta deverá ser acceita pelos dois paizes".

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO
SACK MIURA
DIRECTOR — GERENTE
Masaaki Udihara — Alfredo Takeuchi

Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 169
Telephones: 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375
Endereço Telegraphico: "Nippak"
SUCCURSAL:
Rua Conde do Pinhal, 154
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — Brasil

Assignaturas
PARA O BRASIL
Por anno ..... 30$000
Por semestre ..... 16$000
Numero avulso $500
PARA O EXTERIOR
Por anno ..... 0$000

Annuncios
Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios nesta folha

Jantar de despedida offerecido ao sr. Kozo Higé e senhora

O Consul Geral do Japão em S. Paulo, e senhora, que vão partir dentro em pouco para o Japão, conquistaram, nos tres annos que viveram nesta capital a sympathia e admiração de todos os circulos, pela cultura, bondade e amor ás artes.

Como preito de homenagem ao illustre casal, a sociedade paulistana offerecerá amanhã, ás 10 horas e meia, no restaurante do Automovel Club, o jantar de despedida. Já adheriram á significativa homenagem numerosas pessoas da alta sociedade paulistana.

Esquecendo-se do passado...

A attitude da Inglaterra violentamente atacada pelo "Asahi" de Tokio

Tokio, 2 — Domei — A attitude francamente hostil ao Nippon tomada pela Inglaterra, attitude essa que se tem tornado cada vez mais patente, com o desenvolver do conflicto nippo-chinez, está provocando, como é natural, forte reacção por parte dos meios officiaes e povo japonezes.

O "Tokio Asahi" publica hoje um artigo intitulado "A Inglaterra desnorteada", em que attaca acerbamente a attitude da velha Albion, na phase actual. Diz o jornal:

"A Inglaterra estava certa de que a região de Cheng-Kiang pertencia ao dominio do pavilhão britannico. Por isso é comprehensivel o seu espanto e o seu desespero ao ver rebentar um acontecimento grave em Shanghai. No entanto, é absolutamente condemnavel a sua attitude que consiste em agir contra o Japão, cooperando activamente com a China, na campanha anti-nipponica. E' opportuno rememorar que a Inglaterra concentrou um exercito de 13.000 homens em Shanghai, em Fevereiro de 1926 epoca em que uma tremenda tempestade de anglophobia sacudia todo o territorio chinez, demonstrando a sua firme decisão em punir a China. Felizmente para a Inglaterra, a organisação militar da China, então, era insufficiente, e o caso não se aggravou. Se, porém, a China possuisse um machinismo guerreiro forte como o que possue hoje, teria sido, certamente, travado uma luta em Shanghai, entre inglezes e chinezes. Hoje, como se trata de um terceiro, atiça-se a Inglaterra, a lançar os mais baixos vituperios contra o Japão. Os funccionarios britannicos em Shanghai, militares e a imprensa ingleza, pelas suas palavras e acções propositaes contra o Nippon provam, de modo cabal, o que acabamos de affirmar. O que mais nos causa indignação é a opinião publica da propria Inglaterra que perdeu, por completo, a calma habitual. Não encontramos na velha patria de Shakespeare, nenhuma opinião esclarecida, a respeito do actual conflicto. A opinião ingleza é uma só, está mobilisada para a campanha anti-japoneza, tal e qual a opinião chineza. Procura esmagar o Japão, publicando noticias falsas, inventadas. Ahi só encontramos o espirito de inimizade e de malquerença. Como esperar o restabelecimento das bôas relações anglo-nipponicas, se o povo inglez assume uma attitude tão antipathica? Haja vista como a Inglaterra adoptou a politica anti-nipponi crecente assembléa da Liga das Nações.

Na Conferencia das Nove Potencias, que deve possuir as mesmas caracteristicas daquella, a Inglaterra procurará por todos os meios, obter os melhores resultados possiveis para a sua diplomacia anti-japoneza. Não podemos esquecer a critica malsã feita pelo "London Times", considerado exemplar conductor da opinião publica, ao pacto nippo-allemão contra o communismo, classificando-o como um "tratado entre ladrões"! E' uma lembrança desagradavel, ainda viva na nossa memoria. Se o proprio "Times" attingiu a um nivel tão baixo, é facil imaginar a decandencia dos outros orgãos.

O sr. Winston Churchil, disse, certa vez, em um eloquente discurso, que a Inglaterra devia mostrar a resistencia do coração aos indianos, para dominar o movimento anti-nipponico da India. Nós tomaremos estas palavras ao pé da letra e as applicaremos ao movimento anti-nipponico da China. Ao mesmo tempo desejamos repetil as, em voz alta, ao povo inglez".

Os portos chinezes perdem o movimento

Shanghai, 1 — Domei — Conforme publicação official da alfandega, sabe-se o seguinte quanto ao movimento dos portos de toda a China.

O movimento dos navios dos 35 portos chinezes soffreu uma baixa consideravel, motivada pelo actual conflicto e pelo bloqueio das costas chinezas. Entraram durante o mez de Setembro 1996 navios no total de 910.928 toneladas e sahiram 2.112 navios com 915.530 toneladas.

Soffreu no total uma reducção de 36 % em comparação ao mez de Agosto, e comparando ao mez de Junho, tempo normal, a baixa é de 55 %.

Descriminando os principaes portos, a baixa segue a seguinte ordem:

Cantão	20%
Sanghai	15%
Tsingtao	9%
Tien-Tsin	8%

Permanece estacionaria a falta de meios de transporte nos mares proximos

Tokio, Setembro — Já noticiamos que o governo nipponico resolvera permittir aos navios estrangeiros e aos que teem o seu domicilio em Kwang-Tung, a effectuarem o serviço de cabotagem em concorrencia aos navios nacionaes, tendo em vista o augmento extraordinario de serviços de transporte nos mares proximos, como reflexo do momento actual. O resultado dessa nova medida foi quasi nulla, ao que se verificou até hoje, pois, sómente 11 navios, no total de 37.435 toneladas, se inscreveram no ministerio da Viação. Esses navios todos são carvoeiros, que já se puzeram em actividades. Dest'arte, a expectativa do governo, que contava como certa a extincção completa da deficiencia de meios de transporte, falhou, se algum contingente consideravel de navios estrangeiros não vier se inscrever, num futuro muito proximo.

A importação de borracha crúa

A questão da limitação e da distribuição

Tokio, Agosto — Não permittindo mais delongas a solução da questão da borracha crúa importada, a Sociedade dos Commerciantes de Borracha esteve reunida, afim de propôr ao governo uma permissão mais rapida para a importação da borracha crúa. Diz a referida proposta que o embarque da borracha crúa, no exterior, com destino aos nossos portos, no decurso de agosto a dezembro do corrente anno será de 20.000 toneladas, despresada a quantidade referente ás compras já effectuadas até hoje. Quanto á parte referente a industriaes e consumidores, a nova disposição sómente será observada de janeiro de 1938 em diante — assim espera a S. C. B. Essa disposição diz que 80% do total importado será distribuido proporcionalmente aos volumes effectivamente consumidos e os restantes 20% em partes iguaes em todos os consumidores. A proponente pede, ainda, que os cambios concedidos até o mez de julho p. findo não sejam cassados por motivo da modificação de clausulas.

御用盜異變

武崎伸平 作
北畠巳郎 畫

（百十三）

念轉（二）

八丁堤を、廓の方から、ブラブラと歩いて来る二人連れの覆面の武士があつた、松平陽と、益満休之助——江戸に潜伏する勤王志士の二巨頭だ

幕府の捕吏が、血眼で探し廻つてその裏をかいて、二人は盛り場——例へば兩國、淺草そして今出て来た吉原だの芝神明だのといつたやうな、とにかく雑踏する場所を選んで會合所としてゐるのである

そして、もはや二人共、江戸に於ける倒幕運動には見切りをつけて、上洛の準備にとりかゝつてゐたのだが、今宵もその種の用談を終へたところであつた、ヒューウーッと木枯が土手上を一しきり吹き過ぎると

「寒い晴、どうも南國育ちの我々には全くやりきれねて」

「お國は、暖かであらう晴」

「左様、正月の終りには、櫻の花が蕾を持つで晴、吾等大顔成就の暁には、若しお互に生きて居れば、是非一度お出でを願ひたいものぢや」

「忝ない、幸ひにして命數があれば、必ずお國の山河を訪ひたいが念願でござる」

「ウム、ならば、御約束を違へたくないものぢやて、お國自慢は江戸つ子の貴殿には、鼻につきさうぢやが、實際拙者の國は、自慢するに足る晴南陽の下、四季、果實と花を断たぬ常春の境——士、農、工、商の四民、共に純朴にして人情の厚きこと、他國に其の比を見ぬ、もつとも言葉は荒つぽいが……」

益満休之助が漢文口調でこゝまで説明した時、フッと言葉を切つて聞き耳を立てた

「太刀討の音がする晴！」

二人は、前方をぢつと透して見た

「ともかく行つて見やうではござらぬか」

「よからう」

休之助は、先に立つて走りだした

太刀を折られた紅林甲子太郎は小刀を抜いて構へてゐた

それをぐるりと取り巻いてしまつた牧田達は、既に勝算十二分と見てか餘裕綽々——

「串刺しにしやうではないか」

「よからう」

「はやまるな！」

「貴様こそ抜け駆けするな」

「皆揃つて一太刀づゝ、生胴試しだ！」

「薩長賊を馬蹄に一蹴する——軍神の血祭！」

口々に喚きながら、一同はぢり〳〵と圓形を縮めていつた、その劍の圓が縮まりつくせば、その中心に立つ甲子太郎は、八本の刄に刺し貫ぬかれて果てる外に手だてはない大勢を相手としての闘ひに、包圍されてしまつては、既に十中九までは負けだ、亂陣となつてもさうなのに、殊にかう正攻法に相手が出て来ては紅林甲子太郎、どうもがいても所詮助かる餘地はない、とれまでだ——と甲子太郎は覆念した、おひろよ、許せ、力は盡きたのだ、それに、お前を失くして、女賊お澄に戀した俺は、邪淫に落ちた報ひとして、當然斯うした運命に際るべきであらう——せめて、最後に、體に八つの刄が突き刺されると同時に、八人の中一人は、たたつ斬つてやりたいもの！　死を覚悟した甲子太郎に向つて、八本の刄は身近く迫つて来た

時！　足音！　益満と松平は、歩兵隊士の背後からものをも言はず斬りつけた

× ×

ROFECO 印

種蒔機

アドウバテイラ付と無しの二つ本機は棉、ミーリョ、豆、米其他の種子蒔に最適で理想的隔間を以て蒔かれます
凹凸地も平坦な土地と同様取扱ふ事が出來るのが本機の特徴

RODRIGUES FERRAZ & CIA.
Rua Florencio de Abreu, 56
Caixa, 2583 — S. Paulo

肥料は

チリ硝石を施さなければ何んの効果もありません
尚農業に關する御質問は無料にて回答致します、日本文にても可
農業品各種

ARTHUR VIANNA & CIA LTDA
Caixa Postal 3520
Rua São Bento, 100 S. Paulo

PHARMACIA IRIS
R.11 de Agosto, 72 Tel. 2-4092 S. Paulo
一流醫家より定評ある
イリス藥局
（渡邊鉄器店向ひ）

Dr. J. de Souza e Silva
Av. Sampaio Vidal, 34C - Marilir
小兒科專門
お子様の病氣しか診察致しません
ドトール・ジエ・デ・シルヴア・ソーザ
＝マリリア市＝
アベニダ・サンパイオ・ビダル三四C

Restaurante Zeppelin
Rua Seminario, 20
S. Paulo
Dono: Abrão Syrio
一ダエ付日水非お
ミ美ジは曜當食
ル味ヨ極ス及店事
八百理一ラブ曜、是
ア上一土では

理髪助手募集
本人面談又は文通にても可
聖市高給支拂…
シンプリシアナ四八
サロン大阪

油醤
ノロエステ線　ブロミツソン驛
黒島醤油味噌醸造所

CLINICA DENTARIA
山中歯科医院
リンス市ルイス・ガマ街
＝(シネマ前)＝

自動車の御用は日本人のガラージ・コングレツソへ
電話 二・〇〇八一
聖市プラサ・ジオン・メンデス